

ニュージーランド 2023年最後のゼスプリキウイが出航

The Packer 2023年9月22日

約782トンのゼスプリサンゴールドと3,621トンのゼスプリグリーンキウイフルーツが、ゼスプリのキウイフルーツ出荷シーズンの最終便であるディスカバリーベイ号で(タウランガ港を)出発し、10月初旬に東京に到着する予定である。ニュースリリースによると、東京の後、貨物は日本の神戸、その後韓国に向かう。

ゼスプリの最高執行責任者(COO)であるジェyson・ティ・ブレイク氏は、今シーズンの収穫量が少ない中、50か国以上の取引先に果実を届けるため、業界全体で大きな努力がなされたとして、「ニュージーランドでは、生育条件が悪いために収量が大幅に減少し、非常に困難な年であった」とリリースで述べている。(以下「」はリリースでの同氏の発言)

リリースによると、ゼスプリはニュージーランドから今シーズンのキウイフルーツを出荷するため、北ヨーロッパに4隻、地中海に8隻、北米西海岸に2隻、アジアに37隻の計51隻の船舶(非コンテナ船)をチャーターした。リリースはまた、今シーズン最後の残りの2,540トンのキウイフルーツを運ぶコンテナも、今後数週間で輸送される予定であるとしている。

「収穫量の減少が生産者に大きな圧力をかけているが、業界はサプライチェーンを通じて、また市場において、価値を最大化することに焦点を合わせてきた。これは、果実の品質を改善するというコミットメントを意味するものであり、品質は昨年よりも大幅に改善され、2021年に見られたものに近い。今シーズンは強気の価格設定も実施しており、1箱当たりの売り上げはシーズン初めの想定の上限に張り付いている。」

同氏はまた、ゼスプリは2022年シーズンと比較して約8週間早く出荷を終了するが、これはシーズン後半における品質維持のための生産者の負担を回避するための戦略的決定であったと述べた。

ニュージーランド産の2024年シーズンを見据えて

同氏はまた、来年の計画を策定中であると言い、強い消費者需要を満たすため相当多くの果実があることが期待されるとした。

「2024年シーズンの計画は、ニュージーランド・キウイフルーツ生産者協会のメンバー、流通関係者、ゼスプリの幹部で構成される業界諮問委員会が主導している。その一環として、品質をさらに向上させ、来シーズンに予想される量の増加に対応するためにどのような変更を加える必要があるかを検討している。」

初期の兆候は、ニュージーランドが2024年にゼスプリグリーンとゼスプリサンゴールドキウイフルーツの両方について良好な成長を遂げることを示唆しており、過去2シーズンの課題から立ち直ることが予想されると同氏は述べた。

「しかし、第一次産業として、我々は依然として気象関連の課題にさらされている。我々は、高品質の果実を生産することから、それを最適な形で市場に投入し、そこでできるだけ多くの価値を得ることまで、サプライチェーン全体をうまく機能させることに重点を置いている。これは、我々の契約生産者とコミュニティに対し、より多くの価値を確実に提供できるようにするために重要である。」

いずれにしても、業界はニュージーランド産のシーズンを順調に終え、ニュージーランドのシーズンオフの間は北半球の供給に移行することを見届けたいと同氏は言う。